

31600

(包紙)

「大谷九右衛門さま

人々

たき

正月
■
■
日

(破損)

より

」

31601

尚々めてたくかしく

又そのうちこなたへも

御出被下候、かしく

昨日^者御出被成候へ共

御あいそうもなき

御事と御残多そんし参らせ候

夕へ将けんとへの

あい参らせ候て、そもしさまより

御あいさつも申参らせ候

将けんとの申され候には

何こくすほうの守との

とくとかつてんニて

御坐候、ことのほかく

御しゆひやいもよろしく

御坐候やう相きこへ

参らせ候、わたくしたき

いかほとかく悦入参らせ候

おかけさまからしれ次第

将けんとのより申され候はつ

御坐候、さやう御書

被下候

明日は将けんとへの

御成候やうとそんし候

めてたくかしく

九右衛門さま たき